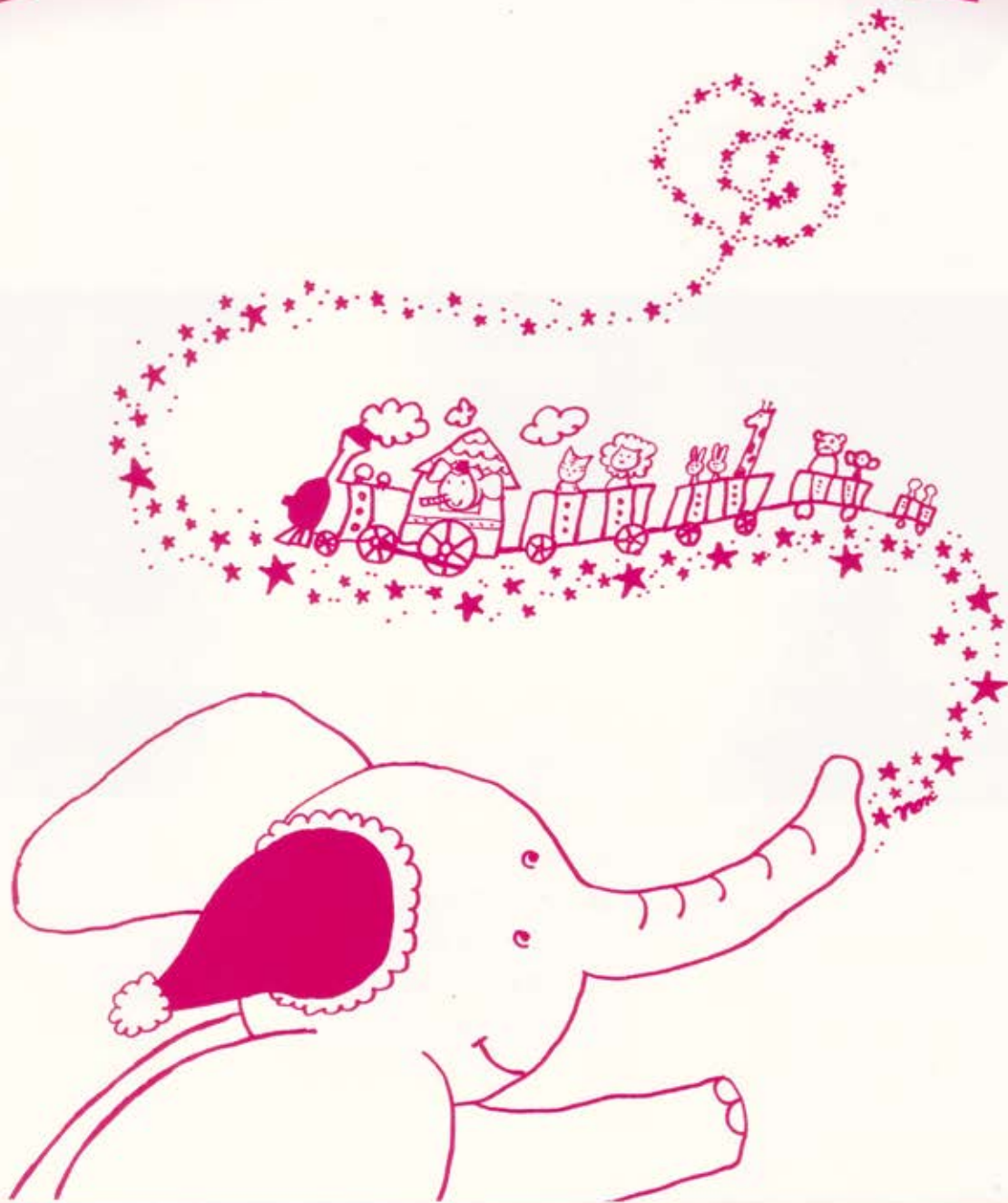


2012 Xmas コンサート

SK松本ジュニア合唱団



2012年12月23日(日)
開演14:00

キッセイ文化ホール大ホール
(長野県松本文化会館)

主催 SK松本ジュニア合唱団
(財)長野県文化振興事業団(キッセイ文化ホール)
共催 長野県 長野県教育委員会
後援 松本市 松本市教育委員会 信濃毎日新聞社
市民タイムス SBC信越放送
テレビ松本ケーブルビジョン
SK松本ジュニア合唱団後援会



響きあう人と文化
(財)長野県文化振興事業団



昨年のクリスマスコンサート「ALICE 心のカリヨンを鳴らす時」より

ごあいさつ



本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団2012クリスマスコンサート」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF（サイトウキネンフェスティバル）が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、19年の歴史を重ねるまでになりました。

卒団生との最後のステージになった「スプリングコンサート」、上田市で開催された「第23回長野県少年少女合唱祭」への参加や「お城 de ハーモニー」など、今年も様々な活動に取り組んでまいりました。

特に昨年の国連軍縮会議の関連イベントでお付き合いのあった柳澤寿男先生と、先生が指揮をされている「バルカン室内管弦楽団」との共演が出来たことは素晴らしい経験になりました。音楽だけでなく音楽を通した、先生の平和への思いとその活動には、子ども達は音楽の持っている力の素晴らしさを改めて考えることが出来たと思っています。こうした様々な体験こそが子ども達の感性を育み、音楽はもちろんですが生きる力となっていくものと信じています。

コンサートの第一ステージはミサ曲です。今年はグノーの「ミサ・プレヴィス」を取り上げました。心が洗われるような天使の歌声をお楽しみください。

第二ステージの「夕焼けの向こうに」は柳澤先生がバルカン室内管弦楽団の日本公演にあわせて児童合唱団と取り組んできた作品です。「夕焼けの向こうにある明日は私たちの手によって創られているのですから共に手を繋ぎ、心をひとつに生きていくことを願う」とのメッセージが込められています。

第三ステージは当合唱団の特徴でもあるボーイズのステージです。変声期が過ぎて深みの出た歌声でのおなじみの曲をお聞きください。

第四ステージは「ぞうれっしゃがやってきた」です。元々は日本中の子ども達に感動を与えた絵本ですが、子ども達の平和と幸せを願う合唱構成曲として今でも全国各地で歌い継がれています。

本日のコンサート開催にあたり、改めてご指導の先生方、キッセイ文化ホール関係の皆様方、またご支援を頂いている多くの方々へ感謝申し上げます、これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げますとごあいさつと致します。本日のコンサートを充分にお楽しみ下さい。

SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

指揮 : 佐原玲子 / 白澤知代
ピアノ : 渡辺かおる / 井垣里沙
指導助手 : 片瀬友美

オープニング

てのひらを太陽に

作詞 : やなせたかし / 作曲 : いずみたく / 編曲 : 佐藤賢太郎 (Ken-P)

アンパンマンのマーチ

作詞 : やなせたかし / 作曲 : 三木たかし / 編曲 : 佐藤賢太郎 (Ken-P)

第1ステージ

Messe brève no.7 in C

Charles Gounod 作曲

Kyrie

Gloria

Sanctus

O salutaris hostia

Agnus Dei

第2ステージ

夕焼けの向こうに

作詞・作曲 : 岩河智子

朝のわらべうた

祈り

祭り

夕焼け小焼け

おやすみなさい

第3ステージ

雨

作詞：八木重吉／作曲：多田武彦

筑波山麓合唱団

作詞：永六輔／作曲：いずみたく

虹

作詞・作曲：森山直太郎・御徒町胤／編曲：信長貴富

～ 休憩 ～

第4ステージ

ぞうれっしゃがやってきた

作曲：藤村記一郎

原作：小出 隆司

作詞：清水 則雄

1. サーカスのうた
2. ぞうを売らないで
3. 雪よふるな
4. 動物園へようこそ
5. 動物を殺せ
6. 悲しみの日
7. いくさの終わる日まで
8. 本物のぞうが見たい
9. ぞうをかしてください
10. ぞうれっしゃよはしれ
11. 平和とぞうと子どもたち

フルート演奏：伊藤友貴（卒園生）

あらすじ

1937年(昭和12年)、木下サーカスから東山動物園にやってきた4頭の象、アドン、エルド、マカニー、キーコは子どもたちの人気者でした。しかし、戦争が激しくなり、各地の動物園では軍の命令により動物たちが次々と殺されていきました。そんな中で名古屋の東山動物園では、北王園長さんを先頭にぞうたちを必死で守り抜いたのです。

そして、戦争が終わり、1949年(昭和24年)、ぞうのいなくなった各地から「生き延びた2頭の象、マカニーとエルドを見たい」という子どもたちの夢を乗せた特別仕立ての「ぞうれっしゃ」が名古屋へと向かって走ったのです。

今年一年の活動

3/4 管楽器アンサンブル定期演奏会賛助出演(キッセイ文化ホール)

3/20 団内スプリングコンサート・卒団式(キッセイ文化ホール)



学年ごとの発表会。少ない人数だからちょっと緊張。



小2の発表は高2のお兄さん、お姉さんたちが共演。マルモリヲと一緒に踊ります。



笑顔で卒団「おめでとう！」

2月と4月 5・5・5月間



歌の好きな子、集まれ！SKジュニアの体験入団

5/20 「第23回長野県少年少女合唱祭」参加(上田市・丸子文化会館)



県内の少年少女合唱団10団体が一年ぶりに集いました。

プラカードは卒団生からのプレゼント。初披露です。

4/17 「万葉歌碑記念祭」出演(薄川の畔にて)



青空の下で歌ったあと、美味しい万葉汁をいただきました。



新緑の美しい公園で記念撮影。

6/3 波田少年少女合唱団アンサンブルコンサート賛助出演(松本市波田文化センター)

今年一年の活動

8/8-10

夏合宿(松本青年の家)



みんなで「いただきま〜す!」



体育館のおそうじも、一緒にやれば楽しい!



たくさん歌って楽しく過ごした合宿。

3日目のお楽しみ
「すいか割り」
うまく割れるかな?



8/18

サイトウキネンフェスティバル歓迎演奏会
「お城deハーモニー」参加(松本城公園)



暑い中、観光客も足を止めて聴いてくれました。

10/8

柳澤寿男指揮「バルカン室内管弦楽団松本公演」参加(キッセイ文化ホール)



ボーイズはフォーレ作曲「レクイエム」の合唱団に参加。民族間の争いのない、平和な明日への願いを込めて歌いました。



熱心に指導する柳澤先生。